

利府町



十符の里の妖精 リーフちゃん

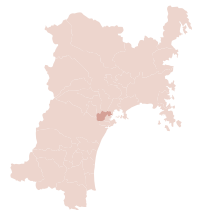
利府町は宮城県のほぼ中央に位置しており、東西に細長い町域になっています。仙台市の中心部から車で約30分の通勤、通学圏にある町です。

「十符の里」

昔、利府町の湿地帯には、良質な菅草が自生し、「菅薦」と呼ばれる敷物が作られていました。その網目が10編あることから「十符の菅薦」と呼ばれ、みちのくの「歌枕」としても詠われていました。これが、「十符の里」「十符の浦」と呼ばれるようになり十が利に、符が府に変わり、利府町になったといわれています。

利府町の夏

「ハーバーハウスかなめ」では追い込み漁や刺し網漁などの伝統漁が体験できるほか、表松島の海を舞台に楽しむマリンスライダーなどを体験することができます。天気の良い日には海から見える絶景を堪能することもで



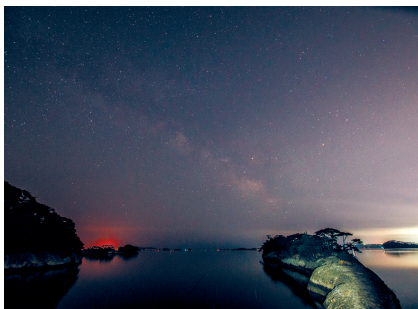
令和2年4月末現在
人口:35,997人
世帯数:13,549世帯
秘書政策室秘書広報班
☎022(767)2112

きます。

ご家族皆さんでくつろげる宿泊施設がありますので、夏休みの思い出にいかがでしょうか。



伝統漁体験の様子



天然の棧橋「馬の背」と夜空に輝く天の川

丸森町



丸森町PR大使 しょこ丸

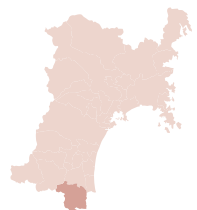
水とみどりの輝くまち丸森

丸森町は宮城県の最南端に位置し、町の北部には阿武隈川が流れています。その流域には貴重な植生群や奇岩などが見られ、昭和63年に、阿武隈渓谷県立自然公園として指定されています。公園内にある不動尊公園キャンプ場では、テントやコテージでの宿泊や、備え付けのかまどを使ってアウトドアアクキングが楽しめます。

この他にも、町を彩る自然や文化を生かしたイベントも開催しています。

令和元年東日本台風からの復興に向けて

令和元年10月12日に丸森町を襲った令和元年東日本台風によって、丸森町は死者10名、行方不明者1名、被害総額400億円超の甚大な被害を受けました。被災以降、丸森町では、住民の方が1日でも早く、安心で安全な暮らしを取り戻せるよう、職員一人丸となって職務に当たっています。



令和2年4月末現在
人口:13,110人
世帯数:5,052世帯
丸森町総務課
☎0224(72)3022

今年度から取り組んでいる企業版ふるさと納税の推進では、全職員が企業へのPRを担当しています。同制度は、自治体の行う事業に対して、町外に本社がある企業が寄付することで、税制上の優遇措置を受けることができ、税制上の優遇措置を受けることが利用できる制度です。町では、この制度を利用して、復興に必要な費用21億9千万円を募っています。皆さんからの温かいご支援をお待ちしております。



町の中心部を貫流する阿武隈川



令和元年東日本台風で甚大な被害を受けた町内